

岩国小学校だより

令和3年(2021年)2月26日

3月号

岩国市立岩国小学校

3学期が終盤に差し掛かり、卒業シーズンとなりました。例年であれば、6年生を送る会などを通して、進級、進学への期待や不安を少しずつ受け止め、心の準備をしていくところですが、今年はそれもままならないところです。今までとは異なるとらえ方、異なる対応方法を常に考え、行うことが必要です。

さて、これから変わっていくものの一つとして、全国的に「GIGAスクール構想」が進められる中、岩国市でも児童一人に1端末を割り当てる準備が進んでいます。現在は、タブレットを各教室で保管・充電するための設備や、動画配信に対応できる速度の無線ネットワーク設備などの準備が進められているところです。

これまでタブレット端末を学習の用具として使ってきましたが、今後は、児童一人一人が手元に置いて、日常的に使う学習用具とすることが見込まれます。子どもたちも教職員も一層練習や工夫が必要ですが、ぜひ効果的に活用していきたいと思えます。

小中一貫教育の取組について

岩国市では、各中学校区で小中一貫教育に取り組んでいます。義務教育9年間を見通した学びや取組を計画的に進めることで、小学校と中学校の円滑な接続と学習の習熟・定着を図り、子どもたち一人ひとりの夢の実現につなげていくのが小中一貫教育です。岩国中学校区では、岩国中、岩国小、藤河小、御庄小、柱野小の5校で取り組んでおり、各学校の特色を生かしながらも、授業中の学習のきまりや、地域学習の取組、家庭学習の方法などをなるべく共通化しています。

2月17～25日に行った「家庭学習強化週間」も、小中一貫教育の取組の一つです。岩国中学校のテスト週間に合わせて、小学校4校も家庭学習に励みました。岩国小学校では、「めあて」を明確にして家庭学習を行い、毎回「振り返り」を書くことで、理解度や達成度、自主学習の内容を自分で確認できるように、3年生以上に「学習の記録」のプリントを配付しました。家庭学習時間の目安も、5校の教職員で見直しを行い、1・2年生は30分以上、3・4年生は40分以上、5・6年生は50分以上として、子どもたちに伝えています。家庭学習は学力の定着に欠かせないものです。このような意識付けを家庭学習強化週間のときだけに行うのではなく、習慣化できるように、これからも全校体制で取り組んでいきます。ご家庭でも子どもたちのがんばる姿に、ぜひ励ましの言葉を掛けていただければ幸いです。

また、この小中一貫教育の取組として、3月12日には、岩国中学校の先生が6年生に出前授業をしてくださる予定です。今後は取組をさらに充実させ、子どもたちの学びが連続・深化するようにしていきたいと思えます。

がんばっています！新委員会活動

岩国小学校には、5・6年生が所属する12の委員会があり、自分たちの課題を自分たちで解決しようと、主体的に活動しています。1月20日に新年度に向けた委員会が決まり、4・5年生291人が活動を開始しました。2月18日までを見習い期間として、6年生の指導の下、仕事が引き継がれました。どの委員会も常時活動として、毎日、あるいは定期的に活動しています。それぞれの委員会で工夫を凝らした活動が行われており、子どもたちが岩国小学校をよりよくしたいという気持ちが表れています。



あいさつ運動をする生活委員会の児童